



農政課題解決研修情報

農政課題解決研修(革新的農業技術習得支援研修)事務局 (連携普及部 連携普及企画室(担当:大島))
電話 029-838-7599

<研修実施状況>

○自給飼料の多収生産技術と未利用資源の資源化技術

畜産草地研究所(那須研究拠点)で9月4日から6日にかけて、8府県から普及指導員と研究機関における研究者の9名の参加を得て標記に係る研修会を実施しました。本研修は、飼料自給率の向上を図るため、多収生産技術と未利用資源の資源化技術を習得していただき、現場での普及活動に生かしていただけるように企画しました。

研修では、畜産草地研究所、北海道農業研究センター、九州農業研究センター、生物系特定産業技術研究支援センターで得られた成果を中心に、7コマの講義と、畜産草地研究所(那須研究拠点)の圃場において飼料作物の二期作・二毛作を活用した安定多収栽培や雑草防除技術等に関する最新技術の見学、および未利用資源を活用したTMRセンターの見学を行い、関係各位を交えての意見交換、講師担当者と研修受講者全員での総合討議を行いました。

研修の最終日に行ったアンケートの結果には、「コマ数を減らして1コマ当たりの時間を増やして欲しい」「未利用資源の活用について、牛のみならず豚鶏への利用についても紹介して欲しい」「最新の研究報告書(概要書)の内容も取り込んで欲しい」などの意見・要望が寄せられました。全体的には、本研修について、研修受講者の89%から肯定的な評価が得られ、研修受講者においては、適切な知識の習得が図られたものと思われまます。

本研修受講者の方々の今後のご活躍により、飼料自給率の向上が図られていくものと期待されます。

(担当:畜産草地研究所 業務推進室 古賀)



講義の様子



TMRセンターの見学

○飼料イネ・飼料米等の生産・給与技術

畜産草地研究所(那須研究拠点)で10月30日から11月1日にかけて、15県から普及指導員と研究機関における研究者等の16名の参加を得て標記に係る研修会を実施しました。

本研修は、飼料自給率の向上を図るため、稲発酵粗飼料(飼料イネ)と飼料米の、栽培・調製・給与の最新技術を習得していただき、現場での普及活動に生かしていただけるように企画しました。

研修では、畜産草地研究所、作物研究所、中央農業総合研究センター、東北農業研究センターで得られた成果を中心に、11コマの講義と、畜産草地研究所(那須研究拠点)の調製工学実験棟と乳牛舎において飼料米の調製実習、生産履歴管理に関する実習、飼料イネ給与試験の見学を行うと共に、研修受講者と講師、畜産草地研究所内関係者と総合討議を行いました。

研修の最終日に行ったアンケートの結果には、「飼料米の肉用牛への給与に関する各県の事例を紹介して欲しい」「飼料米の破碎に関する事を学ぶ事ができた」「パワーポイントの資料を配布して欲しい」「内容を詰め込み過ぎであり時間が足りない」等の意見・要望が寄せられました。全体的には、本研修について、研修受講者の81%から肯定的な評価が得られ、研修受講者においては、適切な知識の習得が図られたものと思われまます。

本研修受講者の方々の今後のご活躍により、飼料イネと飼料米の高度な利用と普及が図られ、飼料自給率の向上に繋がるものと期待されます。

(担当:畜産草地研究所 業務推進室 古賀)



講義の様子



飼料イネ給与試験の見学